

2023年10月23日

TSMC進出に伴う影響調査の結果について

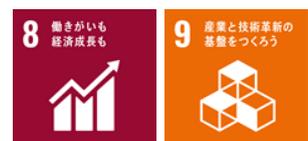
佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、当行の営業エリアである北部九州（佐賀県、福岡県、長崎県）に本社および支社を置く企業約400社に対して、世界最大手の半導体受託製造会社（ファウンドリー）である台湾積体回路製造股份有限公司（TSMC）（台湾・新竹市）の子会社、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社（JASM）（熊本県菊陽町）の工場設立に伴う影響調査を実施しました。

回答企業のうち、「影響がある」と回答した企業が26.2%、「TSMCの工場が完成後、影響があるかも知れない」と回答した企業が28.6%となり、合わせて54.8%の企業に影響が及ぶ可能性があることが判明しました。

上記のうち、影響の内容（複数回答）については、TSMC（JASM）から受注（直接的および間接的、引き合い段階を含む）が43.4%、人材の確保が30.4%、不動産（土地、建物、社員寮等の仲介・売買）需要の増加が13.0%、物流倉庫の新規導入・拡張が8.7%、製造設備の新規導入・拡張が6.5%となり、TSMCからの受注や人材の確保に関するものが上位となりました。

経済産業省は策定した「半導体・デジタル産業戦略」において、九州で“産業界の幅広いニーズに応える多種多様な半導体の製造拠点を立上げるべく、熊本JASMをはじめ、産業基盤を強化し、「新生・シリコンアイランド九州」が世界の産業サプライチェーンの中核を担うことを目指す”としています。

当行は「新生・シリコンアイランド九州」の実現に貢献するべく、北部九州のみならず『オール九州』で連携し、地域の課題解決に向けた取組みを行ってまいります。



以上

《本件に関するお問い合わせ先》
地域支援部 担当：山田・中原
鳥栖・筑後ブロック 担当：池田・堀田
TEL 0952(25)4565
<https://www.sagabank.co.jp>